

事業コード	02020205	政策コード	02	政策名	県民総参加による環境保全対策の推進							
事業名	白神山地利活用推進事業		施策コード	02	施策名	自然環境と景観の保全						
部局名	生活環境部	課室名	自然保護課		指標コード	02	施策目標(指標)名	自然と触れ合う多彩な活動の推進				
			班名	調整・自然環境班		(tel)	1613	担当課長名	阿部 雅弘		担当者名	上田 貴夫

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成26年度 ~ 平成30年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 白神山地はブナ林を主とした森林生態系が世界的に類い稀な価値があると認められて、日本で初めての世界自然遺産となった。平成25年度に改定された「白神山地世界遺産地域管理計画」に基づき、各種のモニタリング調査結果を反映した順応的管理を行い、世界遺産地域を将来にわたって保全していくとともに、白神山地の素晴らしさや価値を環境教育等で県民等に伝え、自然体験等を通じて適切に利活用していくことが必要である。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 白神山地が環境教育の場として適切に利用され、県民等にその素晴らしさや価値を伝えることができていくほか、白神山地を巡視・案内できる人材が増え、自立した活動として世界遺産のガイドなどを行うことができる状態にする。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況
 ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: H25 年 10 月)
 ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
 ニーズの具体的内容
 平成25年度に開催した白神山地世界遺産登録20周年記念シンポジウム来場者のアンケートでは、白神山地を環境教育の場として有効に利活用して欲しいという意見が多く寄せられた。また、地元のガイド団体などから、白神山地の核心地域などを巡視・案内できる人材がほとんど居なくなっているため、人材育成が急務であると要望が寄せられている。

4. 目的達成のための方法
 事業の実施主体 県
 事業の対象者・団体 県民、県外からの観光客
 達成のための手段
 白神山地の自然に接する機会の少ない、県央・県南地区の小学生を対象とした自然体験教室の実施。新しい登山ルートや一般向けの散策ルート等の開設に向け、関係機関と連携して協議。世界遺産核心地域内の巡視や、調査等の案内にも対応できるガイドの育成に向け、関係機関と連携して協議。

把握していない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 子どもたちを対象とした環境教育は地元自治体等でも開催しているが、ほとんどが県北地域の子どもたちを対象としたものであるため、県央や県南の子どもたちが白神を訪れる機会は少ない。新ルートの検討や人材育成に関しては、国や地元自治体、地域の関係者等が一体となって連携し取り組む必要があり、またその手段が最も効果的である。

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)							
順位	事業内記	左の説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体(最終)計画
01	白神山地環境保全教育推進事業	県央、県南地区の小学生を対象とした自然体験教室の開催	1,822	1,822	1,822	1,822	1,822		91,100
02	白神山地の魅力再発掘事業	新しい登山ルートや一般向けの散策ルート等の開設に向け、関係機関と連携して協議を行う。	346	346	346	346	346		1,730
03	白神山地総合ガイド育成事業	世界遺産核心地域内の巡視や、調査等の案内にも対応できるガイドの育成に向け、関係機関と連携して協議を行う。	165	165	165	165	165		825
財源内記		左の説明	2,333	2,333	2,333	2,333	2,333		93,655
国庫補助金									
県債									
その他の		環境保全基金	1,695						
一般財源			638	2,333	2,333	2,333	2,333		93,655

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 白神山地が環境学習の場として適切に利活用される。

指標	指標名	自然体験教室参加児童数	指標の種類
	指標式	自然体験教室参加児童数	成果指標 業績指標

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
目標a			105	105	130	140	150	
実績b		58	データ等の出典					
東北	県主催の自然体験教室の参加者数							
全国								

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名		指標の種類
	指標式		成果指標 業績指標

年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
目標a								
実績b			データ等の出典					
東北								
全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
白神山地が抱える各種の課題を解決していくためには、本事業は必要である。

住民ニーズに照らした事業の必要性
白神山地の適切な利活用やガイド等の人材育成については地域の関係者や県民からの要望が寄せられており、本事業の必要性は高い。

事業の県関与の必要性
法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
白神山地は秋田県と青森県にまたがり、世界遺産地域の保全管理には国（林野庁、環境省、文化庁）も関わるため関係者が多く、県が主体的に関わることが必要である。

政策評価委員会意見	
	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他